



本山 カズエ
昭和2年6月3日
趣味 カラオケ
特技 お茶

こんにちは、私は入所して、十年になります。生まれは熊本県です。九州なまりがあるので、慣れない方は私の言う事が分かりにくいかも知れません。私は信仰する事により、心のやすらぎを覚えます。クラブ活動も、料理、カラオケ、習字等を頑張っております。今後共、よろしく願います。

(担当寮母 桑原ヤス子)



「また逢う日までお元気で…」

あゆみ会副会長 芥川 康子

この度、今治、大洲に新しい施設が設立されることとなり、今治については五月開設という事で、これまで寝食を共にしてきた一部の仲間とお別れることになりました。励まし合い、時には喧嘩をした事を思い出す度、さみしい思いで一杯になります。でも、移動される方々にとっては、ご家族との距離が少しでも短くなり、とても良い事だと思おうと同時に、少し羨ましくも感じています。



新しい施設に移られても、三恵ホームやあゆみ会の仲間の事を忘れないで、時には連絡して欲しいと思います。最後になりましたが、くれぐれもお身体に気をつけて頑張ってください。さようなら。

「生きるなり」を聴いて

副主任 由良スミエ

川内町健康フェスティバル、講演(俳優)千秋実氏の話しに感銘を受けた。

「人間は死ぬのではない。自殺するのだ」古代西洋のセデカの広葉の通り、健康を過信し、病気は人がする者だと思ひ、不攝生の限りをし58才にて脳内出血で倒れ自殺行為的な事をしたのは15年前！。

人間は脳細胞が冒されると色々な後遺症が現われる。回復するまでの年月家族の協力、困りの人達の暖かい助けはもちろん、一番大切な事は、本人のやる気と毎日の積み重ねの努力である。健康で生きる事への



素晴しさ、尊さなど熱意をこめ話され共感を与えた。健康で長生きするため一人ひとりが気をつけ「生きるなり」の足跡を残したいものだ。